

■安井曾太郎 洋画家。早くから関西画壇を指導し、戦時下に、独自の画風を確立して、“梅原・安井時代”を築いた。

やすいそうたろう

初の対等条約1888 = 京都の木綿問屋の五男に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 1歳：

日清戦争始・1894 = 6歳：

八幡製鉄始・1897 = 9歳：

京都市立商業学校を中退後、

日露戦争始・1904 = 16歳： 聖護院洋画研究所に入り、浅井忠、鹿子木孟郎の指導を受けた。同門に梅原竜三郎がいる。

日露戦争終・1905 = 17歳：

満鉄発足・・1906 = 18歳：

韓国反日暴動1907 = 19歳：

パリに留学。

アカデミー・ジュリアンでジャン・ポール・ローランズに学び、デッサン・コンクールではたびたび首席となった。

韓国併合・・1910 = 22歳： 自由研究に入り、ミレー、ピサロ、セザンヌなどの作風に傾倒、その影響を受けて、

明治天皇没・1912 = 24歳：

第一次大戦始1914 = 26歳： 帰国。

21ヶ条要求・1915 = 27歳： *第2回二科展に「足を洗う女」「孔雀と女」など滞欧作44点を特別陳列し、若い画家たちに大きな影響を与え、また二科会会員に推され、同年から関西美術院の指導にあたる。

原敬首相暗殺1921 = 33歳：「人物」。

水平社結成・1922 = 34歳：「椅子による女」。

護憲三派圧勝1924 = 36歳：「黒き髪の子」。

治安維持法・1925 = 37歳：「柿実る頃」。

共産党事件・1928 = 40歳：「花と少女」。

海軍軍縮条約1930 = 42歳： 「婦人像」以後、快調な制作を展開、

満州事変・・1931 = 43歳：

五一五事件・1932 = 44歳：

「薔薇」，

国際連盟脱退1933 = 45歳：

「奥入瀬の溪流」，

帝人疑獄事件1934 = 46歳：

*「金容」「玉虫先生の像」などで、日本固有の風土に立脚した造形を追求し、独自の写実画風を確立した。

芥川直木賞始1935 = 47歳：

帝国美術院会員となり、二科会を離れ、

二二六事件・1936 = 48歳：

一水会創立に参加、以後一水会の主軸となる。

日中戦争始・1937 = 49歳：

第1回一水会展に「深井英五氏像」を出品。

第二次大戦始1939 = 51歳：「F夫人像」，

日米開戦・・1941 = 53歳：

・・・・・1942 = 54歳：

年金+総武装 1944 = 56歳： 東京美術学校教授となり、皇室技芸員に任命された。

敗戦・・・・1945 = 57歳：

新憲法公布・1946 = 58歳：「安倍先生像」。

三大事件・・1949 = 61歳： 日本美術家連盟初代会長。

朝鮮戦争始・1950 = 62歳：「孫」。

独立回復・・1951 = 63歳：

メーデー事件・1952 = 64歳：

東京芸大を退官、文化勲章を受章。

自衛隊発足・1954 = 66歳： *第1回現代日本美術展で「桃」が優秀賞となったが、

55年体制始・1955 = 67歳：肺炎のため_没した。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，